

御意見と対応について【パブリックコメント】

番号	ページ	該当箇所	意見等の内容	県の考え方
1	24	(4)SPEEDIネットワークシステム	「…総合情報通信ネットワーク等により連絡するものとする。」を「…総合情報通信ネットワーク等により速やかに連絡するものとする。」に修正。 さらに、「SPEEDIネットワークシステム等により入手したデータのバックアップ体制と責任者の明確化」を追加文言としてはどうか。	○御意見を踏まえ修正しました。 前段については、国の防災基本計画の中で、国が速やかに公表することとしていることから、県も同様とし、御意見のとおり修正します。 後段については、現在、災害対策本部内において、SPEEDIのデータを印刷して保存するように、バックアップ体制と責任者の明確化がなされており、P73(3)諸記録の作成に基づき適正に取り扱っています。
2	73	(3)諸記録の作成	「県〔県民安全総室〕は、被災地の汚染状況図、応急対策措置、復旧措置等を記録し、保存しておくものとする。」を「県〔県民安全総室〕は、被災地の汚染状況図、応急対策措置、復旧措置等を音声・映像・文書等に記録し、厳格に保存しておくものとする。」に修正。 (理由) NASA(アメリカ航空宇宙局)ではプロジェクトにアクシデントなどがあった場合、例えば、スペースシャトルが打ち上げ直後に爆発した時などの緊急時には一番重要な中央管制室を外部との連絡も完全遮断し、職員が善後策を速やかに取る。しかもその模様は複数の内部職員がビデオカメラに事態の推移を納め後世に資料として残す。そこで福島県もちゃんと緊急防災会議時には職員が備え付けビデオカメラなどを用意して後世に記録として残すようにすべきだろう。そうすれば、県民への附託に応えられるからだ。	○御意見を参考とします。 応急対策措置等の記録については、一般災害対策編、震災災害対策編とあわせ、今後検討してまいります。
3		全般 (防災委員会委員の構成について)	防災委員会委員には専門職とされる女性を加える必要がある。看護師、保育士、障害者に携わる女性、学校養護教師、介護師、民生員	○御意見を参考とします。 福島県においても、「ふくしま男女共同参画プラン」により、審議会等への女性の参画を進めているところであり、御意見を踏まえ、今後さらに参画が進むよう検討してまいります。

御意見と対応について【パブリックコメント】

番号	ページ	該当箇所	意見等の内容	県の考え方
4		全般 (支援時の行動について)	現場での支援の要求ある場合は、女性と男性のペアで支援することが基本である。なぜなら男性だけで支援すると、そのままの継続支援が続くので、後に女性が要求したくとも男性には言いづらく、必要であっても我慢するしかない。しかし多くの場合、その要求は女性にとって絶対に必要で重大である。	○御意見を踏まえ修正しました。 福島県地域防災計画(一般災害対策編)の P4 6 男女双方の視点に配慮した防災計画や P208 第2 避難所の運営 1 避難所の運営主体や今回、充実修正された(4) 自主防災組織を立ち上げる際には、女性の参画を求める等に準拠しており、本計画においてもそれに沿った対応をします。
5		全般 (初動対応について)	初動対応を中心に述べれば、先の大震災では、緊急電源車の電源プラグと原子力発電施設のプラグが合わず冷却系統の電源が出来ず万事休すだったから予防訓練体制強化の徹底。さらに冷却ポンプ系統の電源バックアップの体制強化。また、想定外を想定し、使用済み燃料棒が拡散落下炎上の様な最悪の場合、特殊化学消火器での初動対応になるが善処を期待する。	○御意見を参考とします。 予防訓練体制については、原子力災害対策特別措置法で義務付けられたところであり、P8 2 報告の徴収、立入検査にありますように、県といたしましては状況を確認してまいります。